

平成 29 年 4 月 23 日（日）

公益財団法人 東京富士美術館

企画広報課 大橋弘明 (ohashi@fujibi.or.jp)

高橋和之 (takahashi@fujibi.or.jp)

Tel. 042-691-4825(直通)

URL: www.fujibi.or.jp

東京富士美術館所蔵
てんしょういんあつひめ しんしゅつこんれいちょうど
天璋院篤姫の新出婚礼調度 初公開！

あおいもんぼ たんもんふた ばあおいからくさまき え ちゃわん だい どうふた
《葵紋牡丹紋二葉葵唐草蒔絵茶碗台 同蓋》

展示期間：平成 29 年 4 月 1 日（土）—7 月 2 日（日）



東京富士美術館では、約 30000 点に及ぶ所蔵作品の調査研究ならびに展示公開を進めています。このたび蒔絵工芸作品をテーマとした企画展の開催にあたり、鶴見大学文学部文化財学科の小池富雄教授を中心とした専門家のご協力をいただき、平成 28 年度に行った約 500 点の所蔵蒔絵作品の調査において、**所蔵する蒔絵工芸作品の一つが天璋院篤姫の婚礼調度の一部であることがわかりました。**茶碗台・蓋とは、陶磁器製の茶碗を載せる台、および蓋です。



篤姫の婚礼調度はこれまで国内外で3件が確認されており、**このたび判明した当館所蔵作品は現存が確認された4件目の作品**となります。

これまでに知られている作品は、アメリカのスミソニアン協会 アーサー M. サックラーギャラリーが所蔵する篤姫所用《黒塗二葉葵唐草葵牡丹紋散蒔絵女乗物》、徳川記念財団が所蔵する篤姫所用《阿古陀香炉（村梨子地葵牡丹紋散二葉唐草蒔絵）》、大阪青山大学・短期大学が所蔵する《梨子地葵牡丹紋散二葉葵唐草文様蒔絵十種香道具》の3件です。このうち、スミソニアン協会が所蔵する篤姫所用の女乗物は2008年に江戸東京博物館で開催された展覧会に里帰りし当時大きな話題になりました。

いずれも二葉葵唐草の意匠が施されていますが、国立公文書館所蔵の資料『篤姫御方御待請 並 御婚礼御用留』にはこの二葉葵唐草の彩色図が記されており、現存する蒔絵と一致していることから、天璋院篤姫の婚礼調度であることの特定の根拠となっています。

1 作品情報

《葵紋牡丹紋二葉葵唐草蒔絵茶碗台 同蓋》

江戸時代（19世紀）

台：高 9.2cm、口径 7.0cm、つば径 15.4cm、底径 8.4cm

蓋：高 3.0cm、径 11.2cm

2 展覧会情報

東京富士美術館所蔵・新収蔵品初公開

MAKI-E・美の万華鏡展

会 場：東京富士美術館：本館・企画展示室1～4

会 期：2017年4月1日（土）～ 7月2日（日）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館。翌日火曜日が振替休館）

開館時間：10:00～17:00（16:30 受付終了）

主 催：東京富士美術館

後 援：八王子市、八王子市教育委員会、八王子商工会議所

協 力：Vixen

入場料金：大人 800（700）円、大高生 500（400）円、中小生 200（100）円、未就学児無料

※新館常設展示室もご覧になれます ※土曜日は中小生無料

※（ ）内は各種割引料金 [20名以上の団体・65歳以上の方・当館メルマガ登録者ほか]

※障がい児者、付添者1名は半額 [証明書をご提示下さい]

※誕生日当日にご来館された方はご本人のみ無料 [証明書をご提示下さい。休館日の場合は適用できません]